

学校だより

くろがはた

北九州市立黒畑小学校

校長 田村嘉浩

学校教育目標

「豊かな心とたくましい体を持ち、自ら学び考えることのできる、

自立する力をもつ子ども」を育成する。

<http://www.kita9.ed.jp/kurogahata-e/>

令和3年11月19日

学力特集号

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語、算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

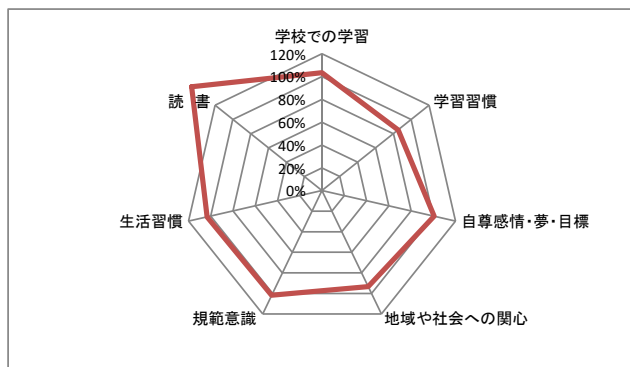
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語	○全体的に平均正答率をやや下回っている。「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」の問題に課題が見られた。 ○自分の主張が伝わるように、文章全体の構成や展開を考える問題の正答率が高く、「書くこと」の力が定着してきている。	下回っている
算数	○全体的に正答率をやや下回っている。無回答率がほとんどの設問で0%となっており、自分の考えを回答しようとする意識が高いことがうかがえる。 ○棒グラフから、項目間の関係を読み取る問題に課題が見られた。	下回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

- 読書の時間が全国平均率をかなり上回っている。日頃から休み時間などにも読書を進んで取り組んでいる姿も見られており、数値に反映されている。
- 学校での学習に対しての意欲や内容に対しては全国平均率をやや上回っているが、家庭での学習習慣においては、下回っている。宿題の量や自主学習の内容を工夫したりして、家庭学習の定着を図る必要がある。
- 自尊感情・夢・目標に関する質問事項の中で特に「自分には、よいところがあると思いますか」において、全国平均率をかなり上回っていた。道徳科の学習だけでなく、日々の友達との関わりの中でお互いを認め合い、自己肯定力の高まりを感じられる。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- 朝自習(黒畑タイム)を活用し、学習の復習や苦手な所の反復練習に取り組む。
- 校内研修を行い、教師の授業力向上を図ることで、子どもの学びの充実へと繋げていく。
- 学年間で教科に関する掲示物や授業におけるポイントを揃えていくことで、子どもの学力定着を統一できるようにする。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- 今年度から月1回の学年通信に黒畑スタンダードの項目を月ごとに選んで載せるようにし、家庭との連携を図っている。
- 黒崎中学校区4校統一ルールを学期ごとに児童にも周知徹底し、中学校への移行をスムーズに促す。
- ネットトラブル等防止啓発資料を適宜配布したり、個人懇談会や保護者会等で啓発する時間を設定したり、年間を通して継続して取り組む。